

福津の今昔

～変わる風景 変わらない風景～

久しぶりに訪れてみると懐かしさを感じるふるさとの風景。以前、田畑だった場所や鉄道が通った道は住宅が建ち並び、街並みや景観は大きく変わってきました。今、当たり前^{など}にそこにある風景の写真を見ながら、その歴史を少し辿ってみましょう。



◀平成22年3月に現在の駅舎が完成。当初、自由通路と「さいごう口」はなく、平成23年2月に自由通路が開通しました



◀平成17年の福間駅。昭和62年の国鉄民営化に際して改築された駅舎は、現在のみやじ口エスカレーター降り口付近から駐輪場にかけて、位置していました。また、タクシー待機場所との関係で、本来の助手席側からではなく、運転手側から、タクシー利用客は乗り降りしていました



◀昭和30年ごろの正月の福間駅。年末年始に掛けて、宮地嶽神社参拝客の下車駅としてにぎわっていたといえます

明治23年に、博多駅から赤間駅間の九州鉄道が開通し、福間駅は開業しました。当時、福間から宮司、宮司から津屋崎の間には馬車鉄道が走り、宮地嶽神社への参拝客や貨物の運搬などで活躍。全国的にも、鉄道の開通によって、商品流通の手段だった馬車や船は鉄道に取って代わっていきました。JR九州の令和2年の統計では、1日平均7,305人が福間駅で乗車しており、全567駅の中で15番目に利用者の多い駅となっています。

発行



福津市

〒811-3293 福岡県福津市中央1-1-1

☎42-1111 (代表)

編集

まちづくり推進室

印刷

久野印刷株式会社

